

製品名: KV4.1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab13168**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	70kDa

抗原情報

遺伝子名	KCND1
別名	KCND1; Potassium voltage-gated channel subfamily D member 1; Voltage-gated potassium channel subunit Kv4.1
遺伝子 ID	3750.0
SwissProt ID	Q9NSA2
免疫原	抗血清はヒト KCND1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 558-607

背景

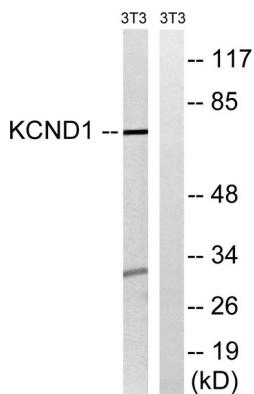
この遺伝子は、膜活動電位の再分極に機能する電位依存性 A 型カリウムチャネルの細孔サブユニットを構成する多回膜貫通型タンパク質

ク質をコードしています。電位依存性カリウムチャンネルの活性は、神経伝達物質の放出、心拍数、インスリン分泌、平滑筋収縮の調節など、多くの生理学的プロセスにおいて重要です。[RefSeq 提供、2013年8月],ドメイン:セグメント S4はおそらく電圧センサーであり、3つおきの位置に一連の正に帯電したアミノ酸があることが特徴です。機能:電位依存性迅速不活性化 A 型カリウムチャンネルの細孔形成 (α) サブユニット。心臓の I(To)電流とニューロンの I(Sa)電流に寄与すると考えられます。チャンネルの特性は、他の α サブユニットおよび調節サブユニットとの相互作用によって調整されます。類似性:カリウムチャンネルファミリーに属します。D (Shal) サブファミリー。サブユニット: KCND2 および / または KCND3 とホモテトラマーまたはヘテロテトラマーを形成する。調節サブユニット KCNIP1、KCNIP2、KCNIP3、および KCNIP4 と類似性を示す。DPP10 と相互作用する。組織特異性: 広く発現する。脳、特に小脳と視床で高発現する。脳の他の部位では低レベルで検出される。、

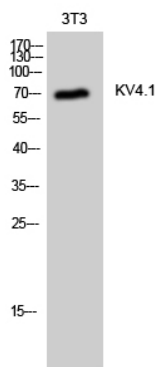
研究分野

-

画像データ



KCND1 抗体を用いた NIH/3T3 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロックされている。



KV4.1 ポリクローナル抗体を用いた 3T3 細胞のウェスタンブロット解析